

災害対策本部の動き (町長の行政報告より)

- 7月30日
 - 8:25 カムチャツカ半島沖でM8.7の地震発生
 - 8:37 本町に津波注意報が発令
 - 町職員や消防署広報車を避難対象地区に派遣
 - 海岸付近からの退避呼びかけ
 - 9:40 津波警報に切り替え
 - 津波到達予想最大3m
 - 9:45
 - 災害対策本部設置
 - 大津、長節、湧洞地区に避難指示発令
 - 津波緊急避難場所3か所と大津コミセンに職員派遣
 - 避難者約160名に食料等配付
 - 14:00
 - える夢館に二次避難所開設
 - 約40名避難
 - 特養とよころ荘に福祉避難所開設、7名避難
 - 20:45 津波注意報に切り替え
 - 20:53
 - ・避難指示解除
- 7月31日
 - 7:00
 - ・える夢館の避難所閉鎖
 - ・災害対策本部解散
 - 10:30
 - ・福祉避難所閉鎖
 - 16:30
 - ・津波注意報 解除

また、備蓄していたテント型の簡易トイレを設置しましたが、避難した方の利用に抵抗感が見られたため、簡易水洗式の仮設トイレを茂岩からトラックで運びました。

その他、避難（場）所における職員の指揮系統の明確化、避難情報を統一的に把握する名簿管理、備蓄品の需給バランス、職員への災害マニュアルの徹底などについて課題を踏まえ、地域住民の皆様と意見交換し、関係機関や専門家と協りました。

A 今後の防災対策は

Q 災害の種類によっては、より多くの町民の避難が想定されます。指針や基準に応じた適切な避難所運営について町長の考え方を伺います。

Q 災害の種類によっては、より多くの町民の避難が想定されます。指針や基準に応じた適切な避難所運営について町長の考え方を伺います。



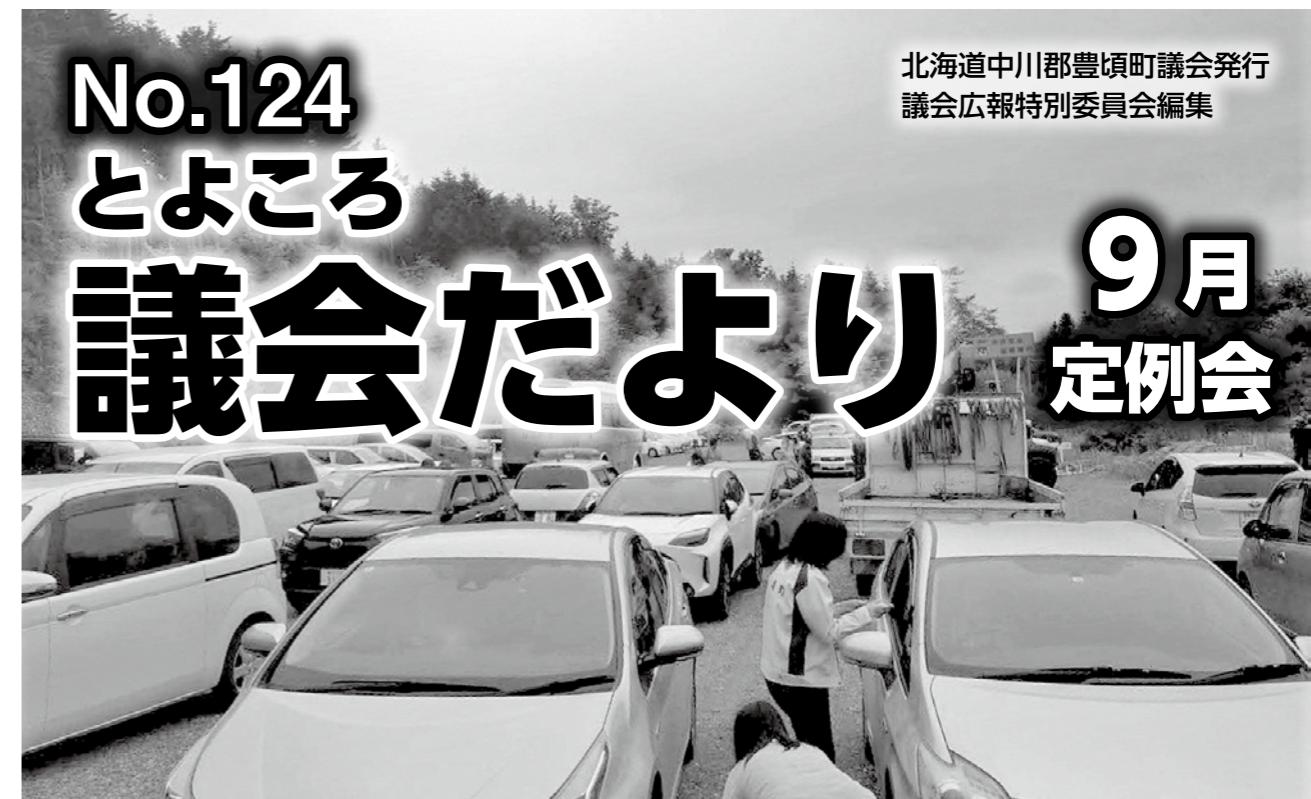
える夢館に開設された二次避難所のようす
簡易テント（仕切り）と簡易ベッドなどが用意されました

定例会あらまし

18日 最終日は3名の議員が一般質問を行ったほか、意見書1件を原案どおり可決しました。

11日 2日目は、令和6年度各会計の決算認定を行いました。

9月9日から開会されました。1日目は、補正予算など15件の議案審議を行い、いずれも原案どおり可決しました。



津波警報発令時の国道336号津波緊急避難場所のようす

令和7年7月30日、カムチャツカ半島沖でM8.7の地震が発生し、本町に津波警報が発令されました。町は、同日、災害対策本部を設置し、大津、長節、湧洞地区に避難指示を発令、える夢館に避難所を、特別養護老人ホームとよころ荘に福祉避難所を開設しました。幸いにも人的・物的被害はありませんでしたが、今回の津波避難対応を検証し、今後の災害に備えるため、大谷議員が一般質問を行いました。

A 津波避難対応の検証について

Q 実際の避難行動を踏まえ、訓練では気づかなかつた課題について伺います。

Q 実際の避難行動について、避難訓練の成果だと思います。このことは毎年実施している避難訓練の成果だと思います。



おおたに ともり 友則議員

し訓練の成果だと思います。一方で、今回の避難行動で新たな課題が明らかになりました。国道336号津波緊急避難場所では、一部の通信会社の携帯電話がつながりにくく、避難した方の通話が途切れたり、災害対策本部と現場との情報共有に支障が生じたりしました。

一般質問

カムチャツカ半島沖地震 災害対応の検証と今後の防災対策は

力

令和6年度

一般会計・特別会計 総額

決算

69億円

✓歳入決算ひとこと

一般会計の歳入決算は、前年度より5億1,074万円減少しました。

小中併設校舎が完成し、町債（借入）が前年度より約5億7千万円減少したことが主な要因です。

歳入の約8割は、国や道からのお金（依存財源）に頼っています。

全会計決算認定しました

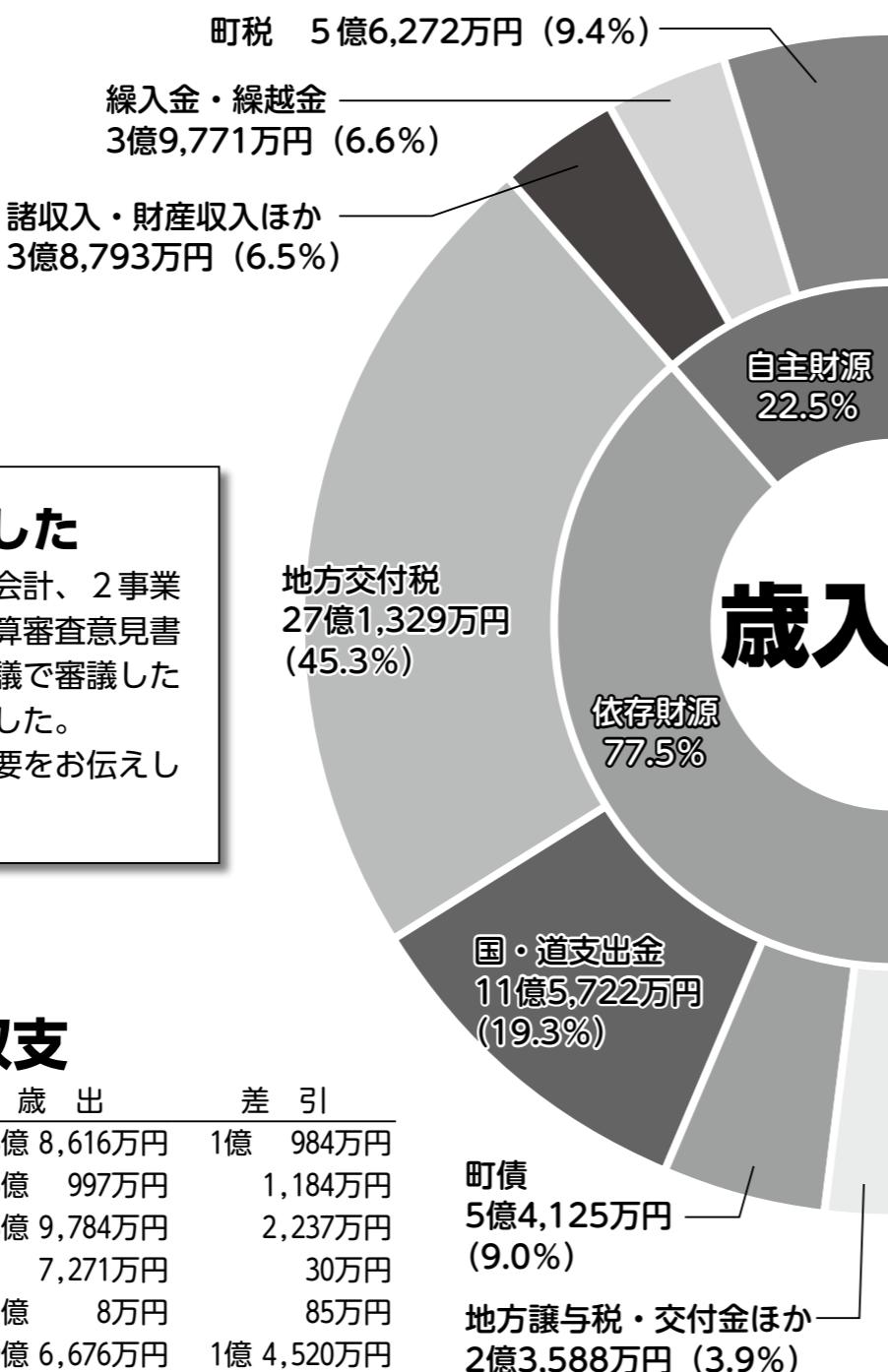
令和6年度一般会計、4特別会計、2事業会計の決算は、町監査委員の決算審査意見書とともに議会に提出され、本会議で審議した結果、いずれの会計も認定しました。

一般会計の歳入歳出決算の概要をお伝えします。

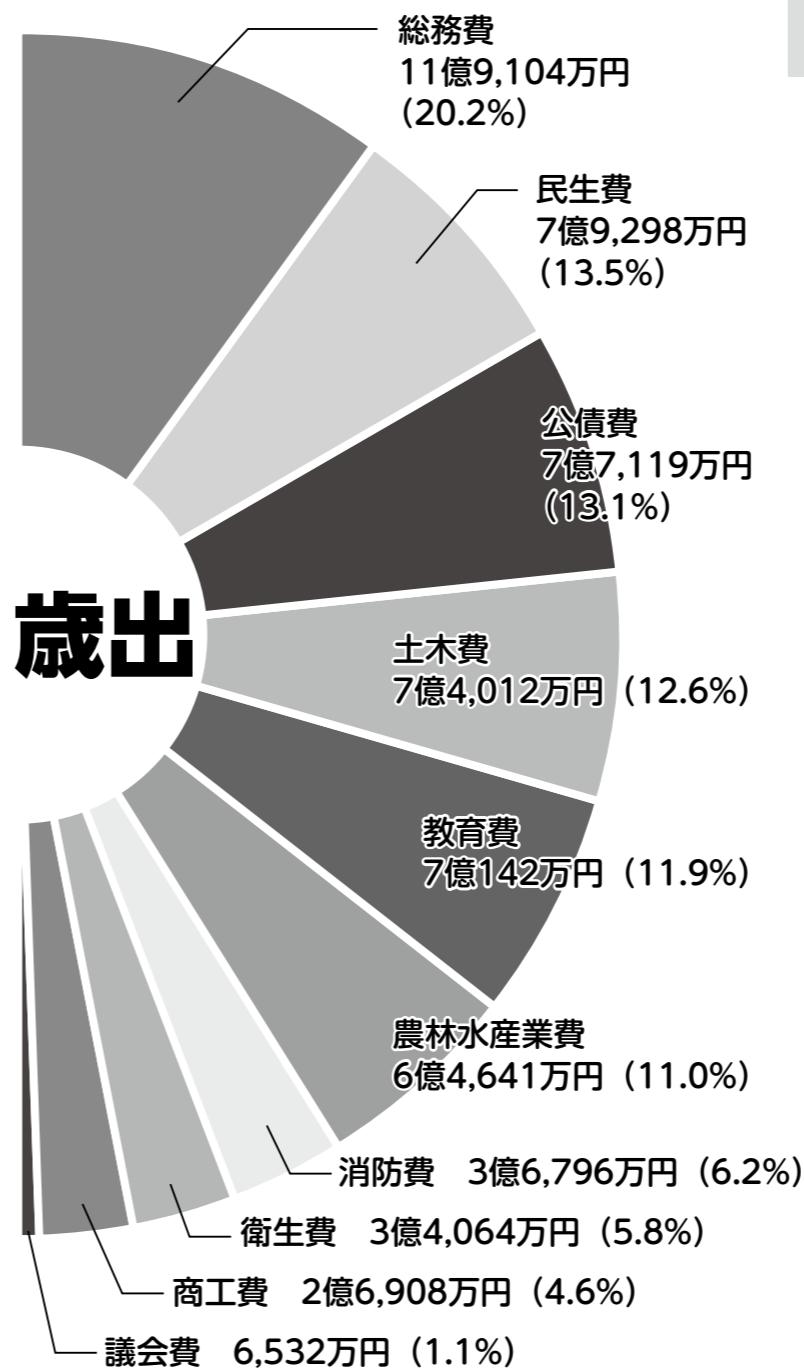
令和6年度各会計収支

	歳入	歳出	差引
一般会計	59億9,600万円	58億8,616万円	1億984万円
国民健康保険	5億2,181万円	5億997万円	1,184万円
介護保険	4億2,021万円	3億9,784万円	2,237万円
後期高齢者医療	7,301万円	7,271万円	30万円
医療施設	1億93万円	1億8万円	85万円
合計	71億1,196万円	69億6,676万円	1億4,520万円

歳入 59億9,600万円



歳出 58億8,616万円



✓歳出決算ひとこと

一般会計の歳出決算は、前年度より5億646万円減少しました。

**太陽光発電システム設置工事
2,420万円**

役場庁舎に太陽光パネルを設置。庁舎の電力の一部を貯め、温室効果ガス排出量を削減

**省エネ家電買換え支援事業補助金
695万円**

対象省エネ家電（エアコン、電気冷蔵庫、テレビ）の買換えを補助

**物価高騰対応重点支援
地方創生臨時給付金 4,566万円**

物価高騰対策として、低所得世帯等に給付事業を実施

公債費 7億7,119万円

借入金の返済や利子支払のためのお金。豊頃小中併設校舎整備の借入金の返済が始まり、昨年度よりおよそ1億8千万円増加

**建設機械格納庫新築工事
1億1,616万円**

除雪用機械の格納庫を新築

**旧豊頃中学校解体工事
2億2,220万円**

体育館を残して旧豊頃中学校舎を解体

**エゾシカ生息被害調査業務
1,084万円**

今後のエゾシカ捕獲活動のため、被害状況や生息状況を調査

* 1万円未満を四捨五入しているため、合計と内訳の合計は必ずしも一致しません。

基金運用 意思決定の流れは



中央区の旧校長・教頭職員住宅

A 町長 現状、金融商品の選定や購入金額、保有期間などについて慎重に判断しているが、な指針が必要ではないか。

A 施設課長 現在は、町職員が施設管理の作業場として利用している。今後の活用について考えは。



町の財政状況は、広報とよころ10月号で公表されています。

A 代表監査委員 福祉の扶助費や除雪費など見積もりが難しい予算もあり、一定程度の不用額は致し方ないと考えている。ただし、本来行うべき事業が未執行になつていなか、減額補正の事務処理を怠つていなかなどの視点で厳しく監査を行つていて。

Q 大崎議員 不用額（予算に計上されたが支出されなかつた金額）が、予算の1.6%、1億122万円あった。令和5年度も1.6%であつたが、この割合は妥当か。

不用額 1.6%は妥当か

A 総務政策課長 安全性を第一に考え、財政担当と会計管理者が選定し、町長の決裁により決定した。

Q インフレ（モノの価値が高くなり相対的にお金の価値が下がること）で基金が日減りしないように、金利の高い有価証券を購入したと推察する。

町の大切な財産を運用するにあたり、どのように意思決定したのか。



A 町長 行政財産から普通財産に変更し、一般に貸付することを検討している。

Q 大崎議員 空き家になつている中学校の校長・教頭住宅について今後の活用は。

Q 旧校長・教頭職員住宅 今後の活用は

A 町長 行政財産から普通財産に変更し、一般に貸付することを検討している。

Q 小笠原議員 基金について。有価証券の現在高が前年度より4億円増加しているが、どのような金融商品を購入したのか。また、その意図は。

A 総務政策課長 定期預金より金利の高い北海道債を購入した。



Q 大崎議員 空き家になつている中学校の校長・教頭住宅について今後の活用は。

Q 旧校長・教頭職員住宅 今後の活用は

A 町長 行政財産から普通財産に変更し、一般に貸付することを検討している。

Q 小笠原議員 基金について。有価証券の現在高が前年度より4億円増加しているが、どのような金融商品を購入したのか。また、その意図は。

A 総務政策課長 定期預金より金利の高い北海道債を購入した。



Q 大崎議員 空き家になつている中学校の校長・教頭住宅について今後の活用は。

Q 旧校長・教頭職員住宅 今後の活用は

A 町長 行政財産から普通財産に変更し、一般に貸付することを検討している。

Q 小笠原議員 基金について。有価証券の現在高が前年度より4億円増加しているが、どのような金融商品を購入したのか。また、その意図は。

A 総務政策課長 定期預金より金利の高い北海道債を購入した。



Q 大崎議員 空き家になつている中学校の校長・教頭住宅について今後の活用は。

Q 旧校長・教頭職員住宅 今後の活用は

A 町長 行政財産から普通財産に変更し、一般に貸付することを検討している。

Q 小笠原議員 基金について。有価証券の現在高が前年度より4億円増加しているが、どのような金融商品を購入したのか。また、その意図は。

A 総務政策課長 定期預金より金利の高い北海道債を購入した。



Q 大崎議員 空き家になつている中学校の校長・教頭住宅について今後の活用は。

Q 旧校長・教頭職員住宅 今後の活用は

A 町長 行政財産から普通財産に変更し、一般に貸付することを検討している。

Q 小笠原議員 基金について。有価証券の現在高が前年度より4億円増加しているが、どのような金融商品を購入したのか。また、その意図は。

A 総務政策課長 定期預金より金利の高い北海道債を購入した。



Q 大崎議員 空き家になつている中学校の校長・教頭住宅について今後の活用は。

Q 旧校長・教頭職員住宅 今後の活用は

A 町長 行政財産から普通財産に変更し、一般に貸付することを検討している。

Q 小笠原議員 基金について。有価証券の現在高が前年度より4億円増加しているが、どのような金融商品を購入したのか。また、その意図は。

A 総務政策課長 定期預金より金利の高い北海道債を購入した。



Q 大崎議員 空き家になつている中学校の校長・教頭住宅について今後の活用は。

Q 旧校長・教頭職員住宅 今後の活用は

A 町長 行政財産から普通財産に変更し、一般に貸付することを検討している。

Q 小笠原議員 基金について。有価証券の現在高が前年度より4億円増加しているが、どのような金融商品を購入したのか。また、その意図は。

A 総務政策課長 定期預金より金利の高い北海道債を購入した。



Q 大崎議員 空き家になつている中学校の校長・教頭住宅について今後の活用は。

Q 旧校長・教頭職員住宅 今後の活用は

A 町長 行政財産から普通財産に変更し、一般に貸付することを検討している。

Q 小笠原議員 基金について。有価証券の現在高が前年度より4億円増加しているが、どのような金融商品を購入したのか。また、その意図は。

A 総務政策課長 定期預金より金利の高い北海道債を購入した。



Q 大崎議員 空き家になつている中学校の校長・教頭住宅について今後の活用は。

Q 旧校長・教頭職員住宅 今後の活用は

A 町長 行政財産から普通財産に変更し、一般に貸付することを検討している。

Q 小笠原議員 基金について。有価証券の現在高が前年度より4億円増加しているが、どのような金融商品を購入したのか。また、その意図は。

A 総務政策課長 定期預金より金利の高い北海道債を購入した。



Q 大崎議員 空き家になつている中学校の校長・教頭住宅について今後の活用は。

Q 旧校長・教頭職員住宅 今後の活用は

A 町長 行政財産から普通財産に変更し、一般に貸付することを検討している。

Q 小笠原議員 基金について。有価証券の現在高が前年度より4億円増加しているが、どのような金融商品を購入したのか。また、その意図は。

A 総務政策課長 定期預金より金利の高い北海道債を購入した。



Q 大崎議員 空き家になつている中学校の校長・教頭住宅について今後の活用は。

Q 旧校長・教頭職員住宅 今後の活用は

A 町長 行政財産から普通財産に変更し、一般に貸付することを検討している。

Q 小笠原議員 基金について。有価証券の現在高が前年度より4億円増加しているが、どのような金融商品を購入したのか。また、その意図は。

A 総務政策課長 定期預金より金利の高い北海道債を購入した。



Q 大崎議員 空き家になつている中学校の校長・教頭住宅について今後の活用は。

Q 旧校長・教頭職員住宅 今後の活用は

A 町長 行政財産から普通財産に変更し、一般に貸付することを検討している。

Q 小笠原議員 基金について。有価証券の現在高が前年度より4億円増加しているが、どのような金融商品を購入したのか。また、その意図は。

A 総務政策課長 定期預金より金利の高い北海道債を購入した。



Q 大崎議員 空き家になつている中学校の校長・教頭住宅について今後の活用は。

Q 旧校長・教頭職員住宅 今後の活用は

A 町長 行政財産から普通財産に変更し、一般に貸付することを検討している。

Q 小笠原議員 基金について。有価証券の現在高が前年度より4億円増加しているが、どのような金融商品を購入したのか。また、その意図は。

A 総務政策課長 定期預金より金利の高い北海道債を購入した。



Q 大崎議員 空き家になつている中学校の校長・教頭住宅について今後の活用は。

Q 旧校長・教頭職員住宅 今後の活用は

A 町長 行政財産から普通財産に変更し、一般に貸付することを検討している。

Q 小笠原議員 基金について。有価証券の現在高が前年度より4億円増加しているが、どのような金融商品を購入したのか。また、その意図は。

A 総務政策課長 定期預金より金利の高い北海道債を購入した。



Q 大崎議員 空き家になつている中学校の校長・教頭住宅について今後の活用は。

Q 旧校長・教頭職員住宅 今後の活用は

A 町長 行政財産から普通財産に変更し、一般に貸付することを検討している。

Q 小笠原議員 基金について。有価証券の現在高が前年度より4億円増加しているが、どのような金融商品を購入したのか。また、その意図は。

A 総務政策課長 定期預金より金利の高い北海道債を購入した。



Q 大崎議員 空き家になつている中学校の校長・教頭住宅について今後の活用は。

Q 旧校長・教頭職員住宅 今後の活用は

A 町長 行政財産から普通財産に変更し、一般に貸付することを検討している。

Q 小笠原議員 基金について。有価証券の現在高が前年度より4億円増加しているが、どのような金融商品を購入したのか。また、その意図は。

A 総務政策課長 定期預金より金利の高い北海道債を購入した。



Q 大崎議員 空き家になつている中学校の校長・教頭住宅について今後の活用は。

Q 旧校長・教頭職員住宅 今後の活用は

A 町長 行政財産から普通財産に変更し、一般に貸付することを検討している。

Q 小笠原議員 基金について。有価証券の現在高が前年度より4億円増加しているが、どのような金融商品を購入したのか。また、その意図は。

A 総務政策課長 定期預金より金利の高い北海道債を購入した。



Q 大崎議員 空き家になつている中学校の校長・教頭住宅について今後の活用は。

Q 旧校長・教頭職員住宅 今後の活用は

A 町長 行政財産から普通財産に変更し、一般に貸付することを検討している。

Q 小笠原議員 基金について。有価証券の現在高が前年度より4億円増加しているが、どのような金融商品を購入したのか。また、その意図は。

A 総務政策課長 定期預金より金利の高い北海道債を購入した。



Q 大崎議員 空き家になつている中学校の校長・教頭住宅について今後の活用は。</

簡易水道事業は経常収支比率が基準を下回る 収支改善に向けた方策は

経営の健全性・効率性は次の3つの指標から分析します

指標	指標の説明	基準・目安	令和6年度の値
経常収支比率	給水収益などの収益で維持管理などの費用をどの程度賄えているか	100%以上で黒字 高いほうが望ましい	94.8%
資金不足比率	公営企業会計の資金不足が事業規模に対してどのくらいの割合か	比率がマイナスなら黒字	-13.35%
有形固定資産減価償却率	有形固定資産のうち償却資産の減価償却がどのくらい進んでいるか、資産の老朽化度合を表す	数値が100%に近いほど 老朽化が進んでいる	6.8%

簡易水道事業会計の経常収支比率は94.8%で基準の100%を下回り、給水収益（水道料金）などの収益だけでは維持管理などの費用を賄えていないことを示しています。

一方、資金不足比率はマイナスとなり、財政は良好な状態にあると言えますが、一般会計からの補助金で補っています。

また、有形固定資産減価償却率は6.8%と低く、積極的な設備投資がなされていますが、今後の安定した事業経営のためには、収支の改善が望まれます。

収支改善に向けた今後の方策について、質疑が交わされました。

水道料金引き上げは 慎重に検討

Q 藤田議員 経常収支比率を基準の100%にするための具体的な考えは。

A 施設課長 経常収支比率は、収入だけでなく支出も関係する。収入と支出のバランスを考えて経営し、適正な維持補修を行っていきたい。

Q 藤田議員 本町の水道料金は管内でも高いと思うが、収益改善のために、水道料金の改定を含めた今後の方策は。

A 施設課長 令和7年度に経営戦略計画の策定を業務委託している。その内容を踏まえ水道料金改定も含め検討したい。

A 町長 水道料金をいきなり跳ね上げると町民への影響が大きくなる。適正な水道料金について慎重に検討したい。

令和6年度公共下水道事業会計 決算の概要

決算額	決算額	指標	令和6年度の値
収益的収入 2億 2,226万円	資本的収入 5,413万円	経常収支比率	103.3%
収益的支出 2億 1,592万円	資本的支出 1億 1,186万円	資金不足比率	-36.06%
差引 634万円	差引 △ 5,773万円	有形固定資産減価償却率	4.4%
※税抜表示 1万円未満四捨五入	※税込表示 1万円未満四捨五入		

簡易水道、公共下水道事業 移行後初の決算

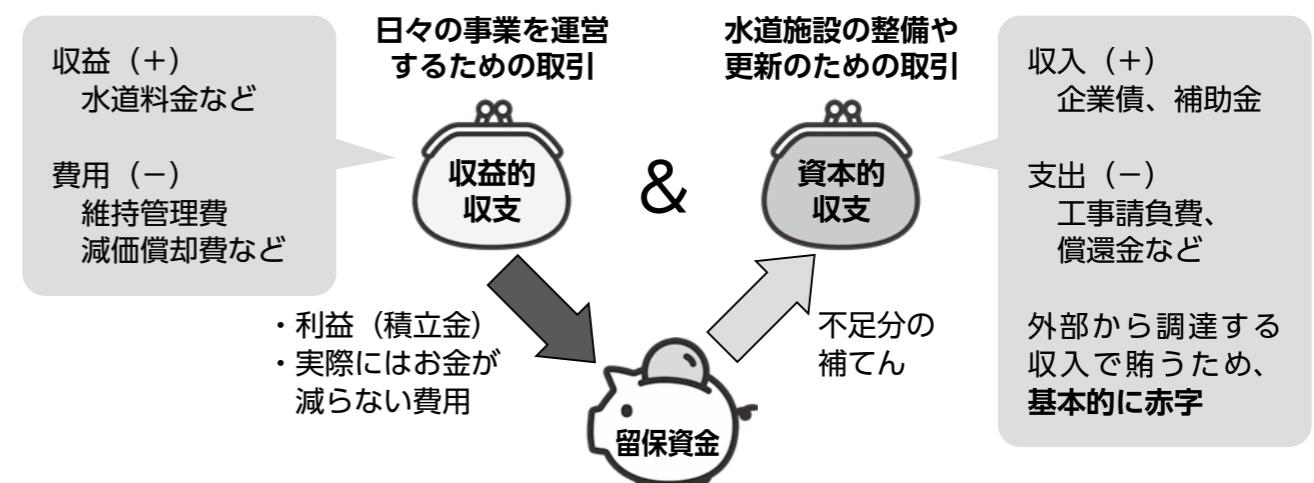
2事業会計を決算認定

簡易水道事業と公共下水道事業は、経営状況の明確化を図るために、令和6年度から事業会計に移行しました。

移行後はじめての決算は、簡易水道事業会計では収益的収支が赤字となりましたが、簡易水道事業会計、公共下水道事業会計とともに決算認定しました。

決算の内容についてお知らせする前に、まずは事業会計のしくみからお伝えします。

事業会計はサイフ（収支）が2つに分かれています



収益的収支で得た利益をもとに施設の整備を行うのが事業会計の基本的なしくみです

令和6年度簡易水道事業会計 決算の概要

決算額	決算額
収益的収入 2億 3,848万円	資本的収入 1億 9,284万円
収益的支出 2億 5,333万円	資本的支出 2億 5,561万円
差引 △ 1,485万円	差引 △ 6,277万円
※税抜表示 1万円未満四捨五入	※税込表示 1万円未満四捨五入

令和6年度簡易水道事業会計の収益的収支は、1,485万円の不足となりました。

なお、収益的収支の中には、実際にはお金が動かない収入（長期前受金戻入）と支出（減価償却費など）が含まれています。

資本的収支は、6,277万円の不足となりました。不足額は、損益勘定留保資金などで補てんされました。

姉妹都市交流

9月20日（土）に開催された「とよころ産業まつり」に、滑川市議会からは竹原 正人（たけはら まさと）議長らが、相馬市議会からは門馬 優子（もんま ゆうこ）副議長らが来賓として来町されました。

秋鮭の即売やつかみ取り等のイベントを見学され、本町理事者や議会議員等と交流を深められました。



とよころ産業まつり開会式のようす

国土強靭化に資する社会資本整備等に関する意見書

産業厚生常任委員会で審議し、岩井 明（いわい あきら）産業厚生常任委員長から上記意見書案について提案説明されました。

意見書案は原案どおり可決され、関係省庁・機関に提出されました。



提案説明する岩井明委員長

会議の詳細は 会議録で

定例会や臨時会などの会議の内容は、会議録に詳細に記録しています。

町のホームページや町図書館で閲覧することができます。

問合せ先
議会事務局
☎574-2222

会議録のページは
こちらから



10月	11月	12月	9月
24日 札幌豊頃会 （～25日） 連携都市交流 （～19日） 議会広報特別委員会 （一般質問、意見書ほか）	18日 （令和6年度決算認定） 第3回定例会（3日目） （一般質問、意見書ほか） 議員全員協議会 議会広報特別委員会 （一般質問、意見書ほか）	11日 （条例改正、補正予算など） 第4回定例会（2日目） （一般質問、意見書ほか） 議会運営委員会 （条例改正、補正予算など） 所管事務調査	4日 （補正予算、その他） 第3回定例会（1日目） （条例改正、補正予算など） 議員研修会（幕別町） 十勝町村議会議長会主催 第3回臨時会 （今後の予定）
18日 （～25日） 茨城県筑西市 札幌市	11日 （～20日） 東京豊頃会 （～2日） 東京都 帯広市	16日 （～20日） 総務文教常任委員会 （一般質問、意見書ほか） 議会広報特別委員会 （条例改正、補正予算など） 所管事務調査	9日 （～2日） 議会運営委員会 （条例改正、補正予算など） （～2日） 議員研修会（幕別町） 十勝町村議会議長会主催 第3回臨時会 （今後の予定）
			30日 （～2日） 議員研修会（幕別町） 十勝町村議会議長会主催 第3回臨時会 （今後の予定）

議会日誌

委員会レポート

総務文教常任委員会 豊頃小・中併設校舎を調査

7 / 15

共用開始から1年が経過した豊頃小学校・豊頃中学校併設校舎の現状について調査しました。

併設校舎になったことで、児童生徒の間に日常的な交流が生まれていました。

また、職員会議を合同で開催しているほか、児童生徒のことで気になることがあればすぐに共有するなど、小中学校教職員間の連携が図られていました。

委員からは、小中併設校の利点を最大限に生かし、小中連携教育の更なる深化に期待したいと意見が出ました。



写真は小学校の図画・木工室を視察するようす。
中学の技術の授業でも共用しています。

産業厚生常任委員会 農作物の作況について調査

8 / 21

町農業改良推進協議会の作況調査に同行して調査しました。

てん菜 大豆・小豆 飼料用とうもろこし
（左）
4月下旬以降の断続的な降雨では種作業が遅れましたが、6月以降の高温で生育が早まり、平年並みの見込みです。

秋まき小麦 乾麦で反収おおむね12.6俵と昨年を上回る見込みです。（昨年は12.2俵）
（右）



十勝農業改良普及センターの方から説明を受けました。
写真は小豆の生育状況を確認するようす。